

# 栃木の明日の成長発展に

# 初心

## 「二歩一歩着実に前進する県政のために」

栃木県知事 福田富一



野高谷立体が開通し、通り初め式で宇工高生が制作した乾電池式EVフォーミュラカーを運転する  
福田知事＝1月30日、宇都宮市ゆいの杜

2025年盛夏号  
令和7年7月発行  
年2回刊  
題字／福田富一 書

〈発行所〉  
福田富一  
暮らしと政治研究所  
〒320-0026  
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号  
TEL 028 (633) 1111  
<http://www.tomikazu.com>

知事選6回目を乗り越えて間もなく1年を迎えようとしています。

県内各地で多くの皆様にお世話になり、引き続き県政を担うこととなりました。改めて感謝を申し上げます。

江戸時代、将軍家剣道指南役柳生家の家訓「昨日の我に今日は勝つべし」を知事職の基本として、成果を残せるよう日々精進しております。

1年前のご指摘「まだやるんですね」「若い人が出られないですよ」「後継者をちゃんとつくってくださいよ」「知事も頑張っているの自分ももう少し頑張ることになりました」などと言われたことにも、ひとつひとつ答えを出して行きたいと思っています。

ところで県立博物館では、戦後80年を迎えて「とちぎ戦後80年」いま、おやと子で知る軍隊・戦争と栃木」を8月末まで開催し（開幕は7月12日宇都宮空襲の日とした）、空襲で投下された焼夷弾や被害を再現したジオラマ等展示し約3万人の来場者があった。新聞社等の取材もあり、実家の長押（なげし）にある祖父の肖像写真も出番となり生まれて初めて祖父の顔を両手で抱えガラス等の汚れを取った・・・平和を希求するその先頭に立たねばと強く誓った。一方県立美術館では、ゴッホ（1853～90）の絵画を映像化したデジタルアート展「親愛なる友フィンセント動くゴッホ展」を6月28日から9月7日まで開催した。

これまでの企画展の来場者数1位は、1979年「パリからの贈りものフランス美術栄光の300年」の44、809人。

今回は約58、000人を超え、46年ぶりに歴代1位となった。

館内は私も含め、子どもから年長者まで、スマホを片手に作品を鑑賞していた。実物でないことへの批判や懸念の中、斬新さや、交流サイト（SNS）で発進できる気軽さなどから全世代の皆さんに楽しんでもらえた。6割が初来館（開館1972年）も驚きだった。

行政の催物は、「誰のために」「何のために」をしっかりと検討していきたい。

来年6月6日は「第21回食育推進全国大会inとちぎ」が、「とちぎからつながる恵みの輪」作って食べて学んで食育で未来を拓こう」をテーマに開催される。

食育推進の機運醸成・地産地消の推進・とちぎの食の魅力発進等を内外に訴えていきたい。

2027年には横浜市にて「国際園芸博覧会」が3月19日～9月26日の間開催される（1990年大阪花の万博以来37年ぶりの日本開催）。

庭園や代表的な花き園芸植物等を展示する「屋外展示」。フラワーアレンジメント・盆栽、地域の魅力（食・物産・観光）等の国内外への発進の場の「屋内展示」を検討中。

2030年の第80回全国植樹祭についても8月に招致表明を行いました。

来年8月の開催内定に向け「基本構想」素案作成など準備を進めて参ります。

全国植樹祭は四大行幸啓の一つで、県と（公社）国土緑化推進機構との共催で毎年持ち回りで開催している。

本県では、昭和57年（1982年）矢板市県民の森で初開催した。

40年以上経過した今、県内森林は本格的な利用期を迎えていることに加え、新たにカーボンニュートラル実現への森林の果たす役割が期待される今日。

全国有数の林業県、緑化推進県と言われるまでになってきた本県の、かけがえのない森林や緑を100年先の未来へ引き継ぐ歩みを力強く進めていく「全国植樹祭」に参りたい。

「誰のために」「何のために」をしっかりと捉えて、栃木の明日の成長発展に一歩一歩取り組んで参ります。

引き続きご指導ご支援を宜しくお願い致します。

# 「とちぎ」の明日へ

## 栃木の魅力 全国に発進



4月13日から10月13日まで開催されている大阪・関西万博に栃木県は6月27日・29日の3日間出展し、県の豊かな自然や優れた歴史・文化などの魅力をPRした。

福田知事は開会式で「栃木の魅力を五感で感じる様々な企画や食の魅力もたくさん集めた。来場者がやがては家族で栃木に来てくれるようにしたい」と話した(上記写真)。

飲食エリアでは餃子やそば、クラフトビール、地酒、日光の天然水を使ったかき氷などが販売され、昼頃には長い行列ができた。竹林のモニュメントや全長3層の竹製アユのオブジェ、四季折々の映像をプラネタリウムのように見ることができる球体ドームシアターが来場者の注目を集め、ブース内で写真撮影をする人が絶えなかった。

7月8日の定例記者会見で



福田知事は大阪・関西万博へ出展した本県ブースを振り返り「栃木の魅力を来場者に伝えることができた。今後は庁内でレガシー(遺産)活用を検討を進める」と総括した。

福田知事から県スポーツ功労賞の賞状を受け取る田臥主将(31日、県庁)

### 「いちご王国」MIRAI TOCHIGI

#### 栃木県 大阪・関西万博に出展



#### いちご王国の魅力を満喫

「いちご王国・栃木の日(1月15日)」を記念し、県は1月19日、県庁でイベントを開催した。

県議会議事堂1階ロビーのステージイベントでは、宇都宮短大付属高の生徒による花とイチゴをモチーフにしたファッションショーや、イチゴの帽子や衣装を身につけた園児らのパフォーマンスが披露され、会場を盛り上げた。

いちご王国の国王に扮した福田富一知事は「今年もいちごの最盛期を迎えた。昨年に続き、大切な人へいちごを贈ろう運動キャンペーン」を開催するので、家族や友人など大切な人にいちごを贈り、その美味しさを伝えてほしい」と挨拶。舞台には「大切な人にいちごを贈ろう!!運動」の横断幕が披露された(上記写真)。

### 「いちご王国・栃木の日(1月15日)」イベントを開催

#### イチゴ柄車輛が復活

東武鉄道は19日、車体にイチゴのラッピングや座席にイチゴ柄を施した「ベリーベリーハッピートレイン」の運行を宇都宮線・日光線(南栗橋以北)・鬼怒川線(南栗橋以南)で始めた。栃木県誕生150周年を記念して2023年6月から1年間運行された「ベリーベリーハッピートレイン」の復活を望む利用者の声に応え、7カ月ぶりに登場した。今回は沿線の4市の合図を送る福田知事(中)。

1町と連携し、各自治体のPRにも力を入れる。

同日、東武宇都宮駅では1番列車の出発式を開催。福田知事が「本県は生産量日本一のイチゴ王国。沿線にも観光イチゴ園や直売所などがたくさんあるので、このトレインに乗車してイチゴを楽しんでほしい」と挨拶し、ホームで発車を見送った。(一番列車へ出発の合図を送る福田知事(中))



#### 宇都宮ブレックスに県スポーツ功労賞を授与

宇都宮ブレックスの3季ぶり3度目のプロバスケットボールBリーグ優勝の功績をたたえ、県は5月31日、ブレックスに知事特別表彰の県スポーツ功労賞を授与した。

福田知事は県庁舎前で行われた優勝記念パレードの出発式で、県スポーツ功労賞の表彰状を田臥勇太主将に手渡した(上記写真)。ブレックスの受賞は、リンク栃木ブレックス時代を含め4度目となった。

福田知事はあいさつで「諦めない気持ちや勇気や元気を県民にたくさん与えてくれた。県民の絆を強め、誇りを高めることにつながった。改めて日本一おめでとう」と称賛した。

パレードは県庁と宇都宮市役所を結ぶ約1.5kmのシンボルロードで行われ、沿道には約5万人が詰めかけた。

#### パリ・パラ車いすテニス複5位の大谷選手に知事特別表彰

昨夏パリで行われたパラリンピック車いすテニス女子ダブルスで5位



オンラインで福田知事(右)から表彰を受ける大谷選手=県庁

入賞した栃木市出身の大谷桃子(29)「かんぽ生命保険」が6月30日、知事特別表彰の「県スポーツ功労賞」を受賞した。21年に東京大会で銅メダルを獲得して以来3度目の受賞。

オンライン授与式に、練習の拠点としていた佐賀県からリモートで出席した大谷は「賞をいただけて光栄。励みになる」と笑顔を見せた。

授与式で福田知事は「これから世界で活躍し、県民に希望と活力を与えてください」と賞状と記念トロフィーを贈呈した。

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞、の記事を抜粋させていたいただきます。

## 地域脱炭素へ財源確保を 環境相らと議論



地域脱炭素について議論した国と地方の意見交換会  
＝5月19日午前、環境省

環境省は5月19日、地域脱炭素をテーマに「国と地方の意見交換会」を開き、全国知事会の脱炭素・地球温暖化対策本部長を務める福田知事が出席し、浅尾慶一郎環境相や五十嵐清環境政務官らと地方での課題などについて議論した。

意見交換会は昨年度から始まり、本年度の開催は初めて。大臣と政務官2人、福田知事や全国市長会、町村会の代表者の計6人が出席し、冒頭を除き非公開で行われた。浅尾環境相はあいさつで「脱炭素先行地域は88地域が選定され、野心的な取り組みが進んでいる。国としても積極的に支援していきたい」と述べた。終了後、福田知事は報道陣の取材に応じ、国に対して地域と共生した

再生可能エネルギーの推進や、地域脱炭素に向けた財源確保などの要望を伝えた。説明。小規模市町村での人材不足が課題とした上で「人材面、技術的なノウハウを都道府県が支援することで取り組みが進んでいくだろう」と話した。

## 孤立集落対策へ財政措置を

### 関東地方知事会

首都圏など10都県でつくる関東地方知事会は5月21日、東京都千代田区の都道府県会館で定例会議を開き、国の施策や予算に関する提案・要望12件などを協議した。本県の福田知事は、自治体が行う孤立可能性集落対策への財政措置を求めた。



関東地方知事会で意見を述べる福田知事＝5月21日午後、東京都千代田区

福田知事は、2024年の能登半島地震で孤立集落の解消が課題となったことを受け本県の孤立可能性集落を調査したところ、13年度の調査

## 少子高齢化などについて意見交換

### 知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム上三川

福田富一知事と県民が、県政や地域の課題などについて直接対話する「知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム上三川」が7月12日、上三川町の上三川いきいきプラザで開かれ、46人が少子高齢化や農業の課題などについて意見交換した。

県政の話題として福田知事は、町内に栃木工場を有し、経営再建中の日産自動車について「県も更新をする自動車があれば電気自動車(EV)を何台買えるか検討している」と支援策を説明。官民協働で人口減少問題に取り組み県人口未来会議については「(目標を盛り込んだ)宣言を来月中旬にまとめる。来年度以降宣言に基づいて施策を進めたい」とした。意見交換では少子高齢化に関する質問や課題の指摘が相次いだ。県内の農業従事者が約20年後、約2割に

減少とされる推計に触れて福田知事は「若い人が大規模経営できるよう応援する」と力を込めた。スポーツ大会や消防団の人員確保の課題、公共交通機関の充実策などについても丁寧に説明した。

知事と町民らが意見を交わしたフォーラム  
＝12日午後、上三川町上蒲生



## 東奔西走の日々

- ◇1月6日 年頭訓示／「喫緊の課題克服へ全庁一丸で取り組んで欲しい」。
- ◇1月25日 全国知事会で万博会場の次世代型太陽光電池「ペロブスカイト」の実証実験施設を視察／「ペロブスカイトは脱炭素の切り札になる技術と再認識した」と福田知事(上記写真)。
- ◇1月30日 宇都宮市の野高谷立休閑通式／「渋滞が解消され、更なる地域産業の活性化が期待される」。
- ◇2月15、16日 東京・渋谷で「とちぎのいちごふえす」／「若い世代や家族連れなどイチゴの購買層の人たちに試食用のイチゴを手渡すことができた」と福田知事。
- ◇3月11日 県ドクターヘリ運航15周年／実績振り返り節目を祝う。
- ◇4月1日 辞令交付式／「デジタルネーティブ世代の皆さんの力を大いに発揮してほしい」と激励。
- ◇4月10日 春の交通安全県民総ぐるみ運動／宇都宮市中央1丁目の大い呼びかける。
- ◇5月17日 宇都宮市道場宿で「利根川水系連合・総合水防演習／鬼怒川の氾濫を想定した水防演習を視察」。
- ◇5月27日 県公館で市町村長会議／本年度は婚活イベントを4カ所開催することを表明「参加の機会を増やすことで効果が高まる」と福田知事。
- ◇6月6日 都内で日本都市計画学会2024年度学会賞の表彰式に出席／官学民連携で最高賞の「石川賞」に輝く。
- ◇6月9日 環境省にいろは坂新交通システム支援を求める要望書を提出。
- ◇6月19日 とちぎ元気フォーラム初の企業版／農水産加工業「壮関」社員と子育て支援策について意見交換。
- ◇6月26日 大阪で関西栃木県人会／「万博出展へ気合を入りたい」。
- ◇7月15日 都内で東京栃木県人会／ふるさと栃木の力強い応援団として支援いただき感謝している」と知事。

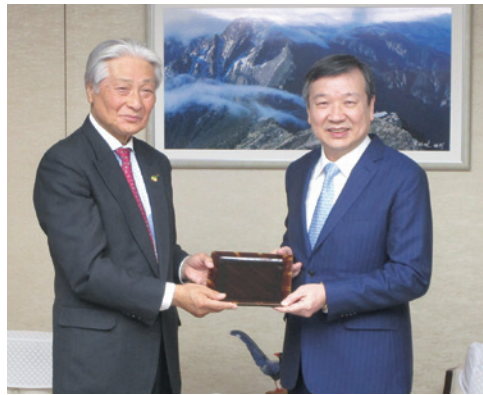


全国知事会のメンバーと万博会場の「リング」を視察する福田知事(前列左から2人目)＝1月25日、大阪市

## タイ大使館、台湾代表処を訪問

### とちぎ型大使館外交

福田知事は3月11日、ウィッチュ・ウエチャーチーワ駐日タイ王国特命全権大使（左上写真）と李逸洋台北駐日経済文化代表処代表（左下写真）を訪問し、本県の魅力や実力をPRし、今後の交流等について意見交換を行った。



## シンガポールオン駐日大使知事表敬

### 経済交流について意見交換

シンガポールのオン・エンチュアン駐日大使は7月9日、県庁に福田知事を表敬訪問し、経済分野を含めた今後の交流について意見交換した。福田知事は本県の魅力発信のため、2023年11月にシンガポールを訪問していた。同年6月に就任したオン大使は本県を訪れたことがなく、交流を深めようと初めて来県した。

オン大使はシンガポールが多額の対日投資を行っているとして「今後は栃木の企業とも交流を深めていきたい」と



福田知事（左）を表敬訪問したオン大使＝9日午後、県庁

## 輸出先の多角化支援要請

### 全国知事会

7月23～24日に青森市で開催された全国知事会は、日米関税交渉の合意を巡り、輸出関連事業者や中小企業の輸出先多角化に対する支援を国に求める提言をまとめた。「排他主義、排外主義を否定し、多文化共生を目指す」とした「青森宣言」も採択し、2日間の日程を終えた（上記写真）。福田知事は、人口減などの諸課題に全都道府県が一致団結して立ち向かう重要性を再認識した。引き続き国とも連携しながら持続可能な社会の実現に向け挑戦していく。私は知事会から経済団体に對し、自治体が実施する結婚

## ゆりの会新年会



2月16日、恒例の『ゆりの会新年会』が、ホテル東日本宇都宮を会場に約180名の華やかな装いの皆様をお迎えして開催された。福田知事が直近1年間の県

## 『福田家の茶の間』

今年の夏は本当に暑かったですね。連日の猛暑で体調など崩されていますか？夫の実家は両親が亡くなり、長男の夫が相続し管理している。週末、時間ができると実家に行き窓を開けて空気の入れ替えをしているが、猛暑でも一番元気なのは雑草だ。旺盛な繁殖力で庭や畑が雑草だらけになっ



（写真）。小学2年の男孫が初挑戦し、親、子、孫の3世代での登山となった。少し雲が多かったが暑くも寒くもないちょうど良い陽気の下、孫のペースに合わせ、休憩を多めにとりながら無理のない速さで歩いた。4合目から5合目にかけてシロヤシオが群生して咲いており、少し盛りは過ぎているが新緑と相まって美しい景色が広がっていた。9合目を過ぎると山桜が山肌にへばりつくように咲いており「この時期に桜が見られるなんて」と感動した。年明けから多忙な日々を送る夫と運動不足の私、「大丈夫だろうか？」と不安の中での登山だったので、全員が無事に頂上まで登り切ることができてほっとした。おにぎりを食べながら「今日は昨年選挙で忙しくて来られなかった分。今年の分は10月に登るよ」と夫は「えー！」と次の言葉が出なかったが、元気な夫に安心もした。健康は人生最大の宝物！夏の疲れが出る頃です。どうぞ皆様ご自愛下さい。

## 編集後記

福田知事は6期目を迎えてもなお全力で県政の課題解決に邁進している。そんな知事の県政への取り組みや日々の出来事などをまとめていきます。どうぞご読下さい。

◇福田富一後援会総連合会事務所  
◇福田富一暮らしと政治研究所  
宇都宮市馬場通り2-11-12  
電話 028(6333)1111  
FAX 028(6333)1110